

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会に適用する規則は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会規定である。

## 2. 招集について

(1) 招集所は、100m スタート地点のゲート付近に設ける。

### (2) 手順

① 招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。トラック種目出場者は、招集開始時刻までに自分のレーンナンバーを確認して、腰ナンバーカードを右腰のやや後方につけておくこと。招集時には、ナンバーカード（各自の登録番号）とスパイクピン等の確認を受ける。競歩競技においては別ナンバーカードを使用することがある。

② 点呼の代理人は認めない。但し、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、第1種目の招集開始時刻までに本人が競技者係に申告すること。その場合に限り、代理人の点呼を認める。また、競技については本人がフィールド審判に申し出て、トラックの方を先に行うこと。

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は出場する意志がないものとみなし処理する。

(4) 招集完了時刻は下記の通りとする。なお、種目別の招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記入されている。

	開始時刻	完了時刻
トラック	30 分前	20 分前
フィールド	50 分前	40 分前
棒高跳	90 分前	80 分前

### (5) リレー種目

① リレー種目のオーダー用紙は、受付時に手渡す。リレーメンバー以外から起用する場合は、必要事項を忘れずに記入すること。選手変更の有無にかかわらず第1組の招集完了時刻の1時間前までに競技者係（招集所）に提出すること。オーダー用紙の提出がない場合は、棄権したものととして処理する。

② 出場メンバー全員が点呼を受けること。但し、他種目に出場している場合は、上記(2)の②に準ずる。

(6) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までにプログラム巻末またはアスリートランキング.com 上にある欠場届に必要事項を記入し、競技者係に提出すること。

## 3. 競技進行について

### (1) 番組編成およびラウンドの通過について

① トラック競技のレーン順、およびフィールド競技の試技順は、全てプログラム記載のとおりとする。

② フィールド種目は全てトップ8方式で行う。なお、投てき種目においては、公式練習が1回になる場合がある。

③ 三段跳の踏切板は、男子 10m00、12m00、女子 9m00、10m00 に設置する。なお、三段跳における踏切板の選択は当日本人の申告により決定する。

### (2) 競技について

① スパイクのピンは11本以内とし、ピンの長さは9mm以下で、ピンの直径の先端は少なくとも長さの半分が4mm四方の定規に適合すること。但し、走高跳・やり投については12mm以下とする。

② ナンバーカードは指定された大きさをユニフォームの胸部と背部につけること。但し、跳躍競技に出場する選手は、胸部または背部だけでよい。

③ トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走ること。

④ 競技区域内に携帯電話・スマートフォン・タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技区域内で助力を与

えたり受けたりしている競技者は、失格の対象となる。

⑤競技場内での練習は、競技役員の指示に従うこと。

⑥招集所からスタート地点、跳躍場、投擲場へ行く場合、競技者係の指示に従うこと。

(3)走高跳、棒高跳びのバーの上げ方は下記のとおりとする。( )内は公式練習の高さである。

		練習										
走高跳	男	175	150	155	160	165	170	175	180	185	188	・・・以後3cm刻み
		145										
	女	145	125	130	135	140	145	150	155	158		・・・以後3cm刻み
		120										
棒高跳	男	420	280	300	320	340	360	380	390	400	410	・・・以後10cm刻み
	女	360	200	220	240	260	270	280	290	300	310	・・・以後10cm刻み
		200										

(4)リレー競技に出場するチームは、上衣は同一ユニフォーム、下衣は同色で参加しなければならない。

#### 4. 競技用具について

(1)棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。

(2)やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己のものを使用してもよい。なお、やりの検査は競技開始1時間前半～1時間前の時間帯に、100m スタート側の倉庫前で行う。以前の検査シールは剥がして持参すること。(日本陸連の検定シールは剥がさない。)

#### 5. その他

(1)顧問及び引率責任者(代理)の出席(審判)なき場合は、選手の出場は認めない。なお、競技役員受付を必ず通過すること。

(2)ウォーミングアップは、補助競技場(サブ・グラウンド)で行うこと。ただし、投てきの練習は、招集完了後、役員の指示により各投てき場で行う。各自で行わないこと。男女円盤投、男女ハンマー投については、補助競技場で行われる。ウォーミングアップ等で使用する際は十分に留意し、カラーコーン内には入らない。また、競技開始15分前まではバックストレートでのウォーミングアップは認めるが、それ以降は安全面の観点から使用を禁止する。

(3)応援はスタンドで行い、競技場トラック周辺に降りて行わないこと。また、集団での連呼応援は自粛すること。(特にトラック競技のスタート直前は注意すること。)

(4)競技中に起こった怪我については、本部の医務室で応急処置のみ行う。

(5)スタンド等で使用した場所は、各校で責任をもって清掃し、ゴミはすべて持ち帰ること。

(6)フィニッシュ後のスタート地点への移動等は、必ずスタンド下の通路や競技場の外側を使用すること。通行禁止や使用禁止の表示がある場合は、厳守すること。

(7)本部席前は通行を禁止する。許可された者(補助員)以外は通らないこと。また、審判長、総務、アナウンサー前での助言は競技会運営に支障を来すため行わないこと。

(8)スタンド等における各校待機場所がトイレ前や通路、階段をふさぐことのないようにすること。

(9)商標規制については日本陸上競技連盟規則に準ずる。

(10)公園内では、メディスンボール、チューブ等の使用を禁止する。

(11)盗撮行為等を防止するために、各校に撮影許可証(腕章)が配布されているので関係者の撮影の際には必ず腕章を着けること。

(12)各校で早朝からの場所取りはしないこと。